

『IFRS(国際財務報告基準)特別セミナー』

~管理者・担当者がIFRSについて知っておくべき頻出論点とその実務事例~

主催 仰星監査法人 大阪事務所 アドバイザリーサービス部

我が国のIFRS任意適用会社(予定を含む)は2019年6月末時点で225社(時価総額220兆円)と、東証上場会社の時価総額に占める割合は36%にのぼり、今後もIFRS任意適用会社は継続して増加していくことが見込まれています。

また、IFRSの任意適用を検討されない会社においても、2021年4月から強制適用となる新収益認識基準を始め、IFRSを基礎とした日本基準の改正が継続することが予想されており、連結決算に際しては在外子会社に関してIFRSを常に意識しなければならない状況にあります。

しかしながら、IFRSは基準そのものが原則主義であるため、自社のビジネスや取引の本質を適確に把握し、論理的に当てはめていくことが必要になります。

このため、財務会計や管理会計に関わる管理者や担当者の方々からは、頻出論点についてその実務事例に関するご要望を多く聞いております。

このような状況を踏まえ、「管理者・担当者がIFRSについて知っておくべき頻出論点とその実務事例」と題し、IFRSに関するトピックスをご紹介しますとともに、今最も関心の高い、日本の収益認識基準に目線を合わせてその頻出論点と実務事例をIFRSも踏まえてご紹介します。また、IFRS適用上の頻出論点とその実務事例についても合わせてご紹介します。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

■ 日 時 2019年9月26日(木) 13:30 ~ 16:30 (13:00 受付開始)

■ セミナー概要

時間	概要
13:30~13:35	「開会挨拶」 パートナー 俣野 朋子
13:35~14:05	第1部「IFRSに関する最近の話題(のれんやリースを中心に)」 シニアマネージャー 森 崇 再度議論されているのれんや新たな基準として適用されているリースなど、知っておくべきIFRSに関する最近の話題についてご紹介します。
14:05~15:10	第2部「(日本の)収益認識基準適用における頻出論点と実務事例」 シニア 岡島 吉紀 (日本の)収益認識基準の強制適用に向けて多くの会社で行われている頻出論点と実務事例をIFRS事例も踏まえつつご紹介します。
15:10~15:25	休憩
15:25~16:30	第3部「IFRS適用における頻出論点と実務事例」 シニアマネージャー 福地 叔之 貴社でIFRS導入を検討する場面の他、在外子会社のIFRS連結を検討する場面など、多くの会社で直面するIFRS適用における頻出論点と実務事例をご紹介します。

■ 会 場

大阪国際ビルディング 16階 会議室 1607号室

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3-13 大阪国際ビルディング

※「本町」駅と「堺筋本町」駅間の本町通沿いに位置します。

1階に「紀伊国屋書店」が入っているビルです。

(アクセス)

- 大阪市営地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅下車 17番出口より徒歩2分
- 大阪市営地下鉄御堂筋線・中央線「本町」駅下車 3番出口より徒歩5分

■ 定 員

70名

■ 受講料

無料

■ 申込方法

受講をご希望の方は、下記 Web サイトの URL よりお申込みください。お申し込みいただきましたメールアドレス宛てに、受付完了の自動返信メールをお送りいたします。なお、お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切らせていただきます。

<https://www.gyosei-grp.or.jp/seminar/index.html>

■ 問い合わせ先

仰星監査法人 大阪事務所／事務局 セミナー担当：福井

メールアドレス osakaoffice@gyosei-grp.or.jp

TEL:06-6265-8461 FAX:06-6265-8462